

作成日 2017年01月06日  
改訂日 2023年03月17日

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	デゾレートAZ粒剤
整理番号	3043-03
供給者の会社名称	北興化学工業株式会社
住所	〒103-8341 東京都中央区日本橋本町一丁目5番4号
担当部門	企画部 環境安全チーム
電話番号	03-3279-5151
FAX番号	03-3279-5195
緊急連絡電話番号	03-3279-5151
推奨用途	農業(除草剤)
使用上の制限	推奨用途以外の使用はしないこと

### 2. 危険有害性の要約 ~ 16. その他の情報

別添「日本カーリット株式会社 デゾレートAZ 粒剤 安全データシート(改訂日: 2022年01月5日)」を参照のこと。

作成日 1993年 6月14日  
改定日 2022年 1月 5日

## 安全データシート(SDS)

### 1. 製品および会社情報

製品名	デゾレート AZ 粒剤
会社名	日本カーリット株式会社
住所	〒377-0004 群馬県渋川市半田 2470 番地
発行部門	安全品証部
電話番号	0279-23-8812
FAX 番号	0279-23-8642
緊急連絡先	同上
整理番号	A-1020
推奨用途	農薬（除草剤）
使用上の制限	上記以外の用途での使用不可

### 2. 危険有害性の要約

GHS 分類			
物理化学的危険性		健康に対する有害性	
酸化性固体	区分2	急性毒性(経皮)	区分5
		皮膚腐食性/刺激性	区分3
環境に対する有害性		眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2B
該当なし		発がん性	区分1A
		特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分2(呼吸器系)
		特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2(呼吸器系、腎臓)

上記に記載がない危険有害性項目は「区分に該当しない」または「分類できない」。

GHS ラベル要素  
絵表示またはシンボル



注意喚起語  
危険有害性情報

**危険**  
H272 火災助長のおそれ：酸化性物質  
H313 皮膚に接触すると有害のおそれ  
H316 軽度の皮膚刺激  
H320 眼刺激  
H350 発がん性のおそれ(吸入)  
H371 吸入した場合、呼吸器系の障害のおそれ  
H373 長期にわたる、または反復ばく露により呼吸器系、腎臓の障害のおそれ

注意書き

[安全対策]  
P210 熱、高温のもの、火花、裸火、及び他の着火源から遠ざけること。  
禁煙。  
P220 衣類および可燃物から遠ざけること。  
P280 保護手袋/保護衣/保護面/保護眼鏡を着用すること。  
P264 取扱い後は手をよく洗うこと。  
P201 使用前に取扱説明書を入手すること。  
P202 すべての安全注意を読み、理解するまで取扱わないこと。

P260 粉じん／ミスト／スプレーを吸入しないこと。  
 P270 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

[応急措置]

- ◆ 火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。
- ◆ 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- ◆ 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合は、医師の診察／手当てを受けること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- ◆ 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診察／手当てを受けること。
- ◆ 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断を受けること。
- ◆ ばく露またはばく露の懸念がある場合は、医師の診察／手当てを受けること。

[保管]

直射日光を避け、密封した後、冷暗所に施錠して保管すること。

[廃棄]

内容物や容器を、都道府県知事等の許可を得た専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

### 3. 組成および成分情報

化学物質・混合物の区別 化学名または一般名 慣用名または別名	混合物 塩素酸ナトリウム 塩素酸ソーダ	炭酸水素ナトリウム 重炭酸ナトリウム 重曹	鉍物質等 —
成分、濃度または濃度範囲	50%	30%	20%(結晶質シリカとして1~3%程度含有)
官報公示整理番号	(化)1-239 (安)公表	(化)1-164 (安)公表	—
CAS No.	7775-09-9	144-55-8	—

### 4. 応急措置

飲み込んだ場合	口をすすぐ。無理に吐かせない。気分が悪い時は、医師に連絡する。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹼で洗う。皮膚刺激が生じた場合は、医師の診察／手当てを受ける。気分が悪い時は、医師に連絡する。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯する。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して、その後も洗浄を続ける。刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受ける。
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受ける。
ばく露またはばく露の懸念がある場合	医師の診断／手当てを受ける。
急性症状および遅発性症状の最も重要な徴候および症状	塩素酸ナトリウム：眼、皮膚および気道を刺激する。血管に影響を与え、メトヘモグロビン生成を生じることがある。腎臓に影響を与え、腎臓障害を生じることがある。これらの影響は、遅れて現われることがある。 <sup>1)</sup>

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤	水、強化液、泡、消火粉末(りん酸塩類等)
使ってはならない消火剤	—
火災時の特有の危険有害性	火災によって刺激性または毒性のガスおよびヒュームが発生するおそれがある。
	火災に巻き込まれると、燃焼を加速する。
特有の消火方法	火災を増大させる危険性があるものを周囲から速やかに取除く。
	関係者以外は安全な場所に退去させ、立入りを禁止する。
	周辺火災時、移動可能な製品は速やかに安全な場所に移す。
	移動不可能な場合は、周囲に散水して冷却する。
	消火作業は風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。
消火活動を行う者の特別な保護具および予防措置	適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置	作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入、誤飲を避ける。
環境に対する注意事項	除草剤として植物に対して無選択に作用して植物を枯らすので、除草目的以外に土壌などに散布してはならない。
封じ込めおよび浄化の方法	飛散したものを掃き集めて、空容器に回収する。また水洗できる場所では、大量の水で洗い流す。
および機材	周囲のすべての着火源を取除く。
二次災害の防止策	

## 7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い	
技術的対策	熱から遠ざける。 可燃物と混合を回避するために予防策を取る。
安全取扱い注意事項	取扱いは、局所排気内、または全体換気のある場所で行う。 使用前に取扱説明書を入手し、すべての安全注意を読み、理解するまで取扱わない。
接触回避	取扱いは換気の良い場所で行い、粉じんが飛散しないよう注意し、みだりに蒸気やガスを発生させない。 不浸透性保護手袋、ゴーグル型保護眼鏡等の適切な保護具を着用し、粉じんを吸い込んだり、眼や皮膚、衣類に触れたりしないようにする。
衛生対策	取扱い後は、手、顔などをよく洗う。
保管	
安全な保管条件	直射日光を避け、鍵のかかるなるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざける。
安全な容器包装材料	保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、はりを不燃材で作る。 ポリエチレン袋、他

## 8. ばく露防止および保護措置

許容濃度等	
管理濃度	3.0 / (1.19Q + 1) Q: 当該粉じんの遊離けい酸含有率(%)
日本産業衛生学会(2021)	結晶質シリカとして 0.03mg/m <sup>3</sup>

ACGIH(2006)	結晶質シリカとして TLV-TWA 0.025mg/m <sup>3</sup>
設備対策	取扱いについてはできるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。
保護具	
呼吸用保護具	防じんマスク
手の保護具	不浸透性保護手袋
眼、顔面の保護具	ゴーグル型保護眼鏡
皮膚および身体の保護具	静電気防止加工長袖作業衣

## 9. 物理的および化学的性質

物理状態	粒状
色	類白色
臭い	データなし
pH	7.8~8.0
融点/凝固点	248°C(原体) <sup>1)</sup>
沸点、初留点および沸騰範囲	データなし
引火点	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界および爆発上限界	データなし
/可燃限界	
蒸気圧	データなし
密度または相対密度	1.0~1.2(かさ比重)
相対ガス密度	データなし
溶解度	101g/100g H <sub>2</sub> O(20°C)(原体) <sup>1)</sup>
n-オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	約 300°C(原体) <sup>1)</sup>
粘度(動粘性率)	データなし
粒子特性	データなし
その他のデータ	データなし

## 10. 安定性および反応性

反応性/化学的安定性	常温常圧で安定
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	火気、衝撃および可燃物との接触
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	燃焼により、一酸化炭素、二酸化塩素等の有毒ガスが発生する恐れがある。

## 11. 有害性情報

急性毒性	経口:ラット LD <sub>50</sub> ♂♀ > 5000mg/kg(区分に該当しない) マウス LD <sub>50</sub> ♂♀ > 5000mg/kg(区分に該当しない) 以上のデータより、区分に該当しないとした。 経皮:ラット LD <sub>50</sub> ♂♀ > 2000mg/kg(区分 5) 吸入:データなし
皮膚腐食性/刺激性	ウサギ 軽度(区分 3)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	ウサギ(非洗眼) 中等度(区分 2B)
呼吸器感受性	データなし
皮膚感受性	モルモット 陰性(区分に該当しない)

生殖細胞変異原性	Ames test、Rec Assay、染色体異常試験 いずれも陰性(原体)分類に必要なデータがないため、分類できない。
発がん性	IARC で Gr.1 に分類されている結晶質シリカを 1~3%程度含有しているため、区分 1A とした。
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	結晶質シリカ：ヒトにおいて短期ばく露でも吸入濃度が高い場合は呼吸器系に影響を及ぼす(区分 1)との記述がある。 <sup>3)</sup> 当製品の含有率が 10% > 区分 1 > 1%により、区分 2 とした。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	結晶質シリカ：ヒトにおいて呼吸器系、腎臓に影響を及ぼす(区分 1)との記述がある。 <sup>3)</sup> 当製品の含有率が 10% > 区分 1 > 1%により、区分 2 とした。
誤えん有害性	データなし

## 12. 環境影響情報

生態毒性	魚類(ニジマス)EC <sub>50</sub> (96h) >3950mg/L 甲殻類(オオミジンコ)EC <sub>50</sub> (48h) >1500mg/L 藻類 EbC <sub>50</sub> (72h) >1000mg/L 以上のデータより、区分に該当しないとした。 難水溶性ではなく、また急性が区分に該当しないため、慢性有害性も区分に該当しないとした。
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

## 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器および包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、またはリサイクルに関する情報	内容物や容器を、都道府県知事等の許可を得た専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。 汚染されたものは、十分に水洗いした後、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。
--	---

## 14. 輸送上の注意

国連番号	1495
品名(国連輸送名)	塩素酸ナトリウム
国連分類	クラス 5.1(酸化性物質)
容器等級	II
輸送または輸送手段に関する特別の安全対策	積み下ろし時の衝撃および火気に注意する。 容器を損傷しないよう取扱いは丁寧にする。輸送中の転落、転倒防止処置をとる。
国内規制情報	海上輸送：船舶安全法、港則法に従う。 航空輸送：航空法に従う。
応急措置指針番号	140

## 15. 適用法令

農薬取締法	農林水産省登録 第 23761 号
消防法	非該当
毒物劇物取締法	劇物(指定令第 2 条)
化審法	対象外(農薬取締法対象のため)(法第 55 条)

労働安全衛生法	危険物・酸化性の物(塩素酸ナトリウム)(施行令別表第1第3号) (結晶質シリカ) 名称等を表示すべき危険有害物(法第57条、施行令別表第9) 名称等を通知すべき危険有害物(法第57条の2、施行令別表第9) リスクアセスメントを実施すべき危険有害物(法第57条の3)
大気汚染防止法	非該当
水質汚濁防止法	指定物質(塩素酸及びその塩、アルミニウム及びその化合物)(法第2条第4項、施行令第3条の3)
土壌汚染対策法	非該当
船舶安全法	酸化性物質類・酸化性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)
港則法	その他の危険物・酸化性物質類(酸化性物質)(法第21条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表)
海洋汚染防止法	非該当
航空法	酸化性物質類・酸化性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)
道路法	非該当
化学物質管理促進法(PRTR)	2023年4月1日以降、第1種指定化学物質(塩素酸ナトリウム)

## 16. その他の情報

引用文献	1) ICSC 国際化学物質安全性カード <sup>®</sup> 日本語版「塩素酸ナトリウム」 2) 安全衛生情報センター「塩素酸ナトリウム」モデルSDS 3) 安全衛生情報センター「結晶質-石英」モデルSDS
記載内容の問い合わせ先	○全般的な窓口 日本カーリット株式会社 化成品部 TEL 03-6685-2046 FAX 03-6685-2050 ○技術的な内容について 日本カーリット株式会社 群馬工場生産技術グループ TEL 0279-23-8896 FAX 0279-23-8480 ○法令・規制等について 日本カーリット株式会社 安全品証部 TEL 0279-23-8812 FAX 0279-23-8642
記載内容の取扱い	この安全データシート(SDS)は、JIS Z 7253:2019 に従って作成しています。なお、記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成してありますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。